

年 組 名前:

日本WBC制覇

大谷 完璧なシナリオ

【マイアミ米フロリダ州共同】野球の世界一を決める第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)日本代表「侍ジャパン」は21日、米フロリダ州マイアミで行われた決勝で前回王者の米国に3―2で勝ち、2009年の第2回大会以来、14年ぶり3度目の優勝を果たした。大谷翔平(エンゼルス)は大会を通じて投打の「二刀流」で活躍し、最優秀選手(MVP)に選ばれた。栗山英樹監督は任期を終え、退任する意向を表明した。

＝関連記事3、14、15、26面、論説3面

こんなラストシーンを誰が予想しただろうか。WBC決勝で大谷翔平(28)は3―2の九回に抑えて登板し、日本の3大会ぶりの優勝を決めた。最後に米大リーグ、エンゼルスでチームメートのスター選手、マイク・トラウト(1)を空振り三振に仕留め「間違いない。今までの中でベストな瞬間」と余韻に浸った。

野球ファンが期待した対決を制した。大谷が2021年に受賞したア・リーグMVPに3度輝いているトラウト。普段は実現しない対戦が世界一を争うWBCであるかもしれないと注目され、ともに楽しみにしていた。九回は3人目の打者がトラウト。大谷は「走者なしでトラウト選手、これが最高のシナリオだと思っていた」と言

う。先頭打者に四球を与えたが、次打者を併殺打に仕留めて狙い通りの展開になった。160キロの速球で追い込み、フルカウントからスライダで空振りさせた。まさに大谷のための完璧なシナリオ。ベンチに向かって叫び、なぞるような言葉だった。

グラブと帽子を投げ捨てる時、両手を広げて喜びを爆発させた。トラウトは「対戦をみんな見たかったと思う。彼はラウンド1に勝っただけだ」と悔しがった。ただ一方で、入団時から大谷の才能を誰よりも認め「打者で先発し、投手で救援するなんてできない。シ

(2023年3月23日付 山梨日日新聞1面)

問1 野球の世界一を決めるワールド・ベースボール・クラシックで、「侍 ジャパン」が優勝しました。

何年ぶり何回目の優勝ですか。

.....年ぶり.....回目

問2 次の文章の①から⑥に当てはまる言葉や数字を、答えてください。

『決勝戦で大谷翔平は、①回に抑えのピッチャーとして登板した。最後の打者は、大谷と

米大リーグ・②でチームメートの③。④キロ台の速球で追い込み、フルカウントから⑤で空振りさせた。

大谷は、ベンチに向かって叫び、⑥と帽子を投げ捨て、両手を広げて喜びを爆発させた』

①..... ②..... ③.....

④..... ⑤..... ⑥.....